

# 特別な支援が必要な生徒が在籍している通常学級への支援の工夫 — クラス全体へのソーシャルスキルトレーニングと学級環境の整備を通して —

生徒指導・教育相談班 高橋 隆二（中学校教諭）

## 研究の概要

特別な支援が必要な生徒が在籍している通常学級の生徒に対して、人とかかわるスキルや人への配慮するスキルを身につけるための指導をクラス全体に計画的に行うことで、お互いに認め合い、自分の思いを伝え合える学級の雰囲気ができ、時と場に応じた行動ができるようになってきた。また、学習環境整備や教師の言葉掛けなどにより、安心して生活できる学級環境を整えることで、トラブルの予防、集中力の持続などができたと考えられる。

## 実践内容

### 生徒が生き生きと活動する学級

- 自分の思いを伝え合える
- 時と場に応じた行動ができる
- 誰もが安心して生活できる

#### C & S 質問紙による実態把握（2回目）

#### ソーシャルスキルトレーニング

- 計画的な指導
- ・ かかわりのスキル
  - ・ 配慮のスキル

#### 学級環境整備

- ・ 人的環境整備
- ・ 教室環境整備

#### 人的環境整備（教師のかかわり方）

- ① 教師が生徒のモデルとなり、温かい声かけや行動をする
- ② 教師の指示はわかりやすく具体的に（板書含む）
- ③ 教師の声かけでは一人一人のよさや頑張りを認める
- ④ 生活ノート（日記）を活用し、生徒を認め励ます
- ⑤ 自己存在感を持たせる学級通信の発行を定期的に行う

#### 教室環境整備

- ① 特別な支援を必要とする生徒への座席を配慮する
- ② 前面の掲示物をなくし、黒板に集中できるようにする
- ③ 背面黒板や側面ホワイトボードへ具体的な指示を記入
- ④ 机・椅子の脚へ騒音対策をする

#### 各行事に関連させて実施

##### かかわりのスキル

- レベル3**
- 自己表現をしよう
  - リーダーシップをとる・リーダーに協力する
- レベル2**
- 感情を表現しよう

##### レベル1

- 上手な話し方をしよう
- みんなのために仕事をしよう

##### 配慮のスキル

- 反省の言葉を伝えよう

- 感情のコントロールのしかたを身につけよう
- 友達との約束を守ろう

- 友達のよいところを見つけよう
- さわやかなあいさつをしよう
- 上手な聞き方をしよう
- 集団生活のマナーを守ろう

高

難易度

低

#### C & S 質問紙による実態把握（1回目）

職場体験・文化祭・合唱ソウル・東京観劇旅行

### 特別な支援を必要とする生徒が在籍している通常学級

- 学級の実態 ○ 行事等の活動の場面では、学級がまとまり、驚くほどの集団の力が発揮できる
- 目標・課題 ○ 一人一人のやる気は高いが、集団の中で自分を発揮したり、感情をコントロールすることが苦手
- よりよい人間関係を構築できるようにしたい ○ 相手の気持ちを考えられるようにしたい
- 集中力を継続できるようにしたい ○ 忘れ物を少なくしたい

## 研究のまとめ

もともと頑張りたいという意欲のある集団であったが、その意欲を表現する方法を知らなかったり、表現できる学級の雰囲気がなかったりと学級内の環境が整っていなかった。そこで、SSTと学級環境整備を行い、計画的に指導することで、人とかかわる知識と技術を身につけ、落ち着いて学習に取り組むことができるようになってきた。この結果、お互いに認め合い、自分の気持ちを伝え合える学級の雰囲気ができてきた。これは、担任の観察だけでなく、C & S質問紙の結果も示している。このことから、特別な教育的支援が必要な生徒が在籍する通常学級において、SSTと学級環境整備を行うことは、生徒が生き生きと活動する学級づくりに対して有効であると言える。このままSSTと学級環境整備を継続していけば、さらによりよい雰囲気が広がっていくはずである。